

令和 6 年 1 1 月教育委員会定例会会議録

令和6年11月18日 開催

富谷市教育委員会

令和6年11月 富谷市教育委員会定例会

日 時 令和6年11月18日（月）午前10時

場 所 富谷市学校給食センター2階研修室

次 第

- 1 開 会
- 2 開会の挨拶
- 3 前回会議録の承認
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 教育長報告
- 6 議 事
議案第1号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書
について（令和5年度実績）
- 7 一般報告
- 8 事務連絡
- 9 閉会の挨拶
- 10 閉 会

令和6年11月 富谷市教育委員会定例会会議録

1. 日 時

○令和6年11月18日（月）午前10時開会

2. 場 所

○富谷市学校給食センター2階研修室

3. 出席委員

○教 育 長	二階堂 浩一郎
○教育長職務代理者	高 橋 健 藏
○委 員	江 刺 義 夫
○委 員	増 田 恵美子
○委 員	武 田 泉

5. 説明のため出席した者

○教育次長	鹿野田 忠 之
○教育部長	神 田 能 成
○教育総務課長	菅 原 俊 司
○学校教育課長兼学校給食センター所長	今 野 善 徳
○学校教育課参事兼指導主事	島 貫 愛
○生涯学習課長	小 嶋 雄 悦

6. 傍聴人 な し

7. 開 会

【教育部長】

委員の皆様、おはようございます。定刻となりました。
ただいまより富谷市教育委員会定例会を開会いたします。
初めに教育長より開会のご挨拶をお願いいたします。

【教 育 長】

改めましておはようございます。
外を見ますと、一気に冬支度に近づいてきているかを感じさせられるような季節となってきました。毎朝、ハンドルを握りながら、今日は何度かなと外気温を見ますと、今までのところ、2℃が一番低いものでございました。
私の住んでいるあたりはもう氷が張りそうな地域でございます。
そんな中、富谷市の子供たちは、様々な豊かな活動をしております。
11月18日（土）に、日吉台公民館を会場としまして、チャレンジランキングというイベントが開催されました。健全育成の方で企画していただいたものでございます。簡単に言いますと中学生がお世話役で、小学生やもっと小さい子供たちがやってきて、いろんな競技をして、ランキング形式で新記録を目指して頑張るといった内容でございます。競技といたしましては、空き缶積み、輪投げ、リンボーダンスなどありまして、最初は日吉台中学生の30名がボランティアに入ってくれたのですが、追加で私も僕もということで、だんだん膨れ上がりまして、正式には何人いたのかよくわからなくなりました、そんなふう子供たちが自主的に小さい子のお世話をかってく

れて、地域のイベントを盛り上げてくれました。大人よりも中学生がすごく動いてくれて活躍してくれました。感心したのが、競技がいろいろあると、当然不人気なところも出てくるわけで、不人気のところは、ただ客引きをするだけじゃなく、自分たちでやってみて、どういうふうに説明したらいいのかを一生懸命考えている様子が見られたので、さすが中学生だなと思いました。そのようなところで、本当に子供たちの豊かな学びを発揮しているなと思いました。

また、前日には、日吉台中学校会場に、宮城県中学校弁論大会が開催されました。県内から選りすぐりといいますか、県内の地区大会を勝ち抜いた中学生が14名集まり、発表してくれました。日吉台中学校の一年生が全員体育館の後ろに入って、その選りすぐりの弁論を聞く機会をいただきました。後で校長先生に伺ったら、今後部会長を引き受けるにあたって条件を出したそうで、弁論大会をうちでやっていただきたいということを誘致したというお話しでした。子ども達を育てるためにそうやっていろいろ思いをめぐらしてやっていただいているということに感謝したいと思いますし、子供たちにとっては、本気の弁論をしっかりと聞くというありがたい経験をすることができ、しっかりと育ったのではないかと思います。

このように、子ども達はいろんな体験を通して、学んで育てていく存在でございます。座学もいいですけども、こういった体験もしっかり富谷市で確保して参りたいと思った週末でございました。

本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

8. 前回会議録の承認

【教 育 長】

前回の会議録の承認を求めたところ異議なく、高橋委員と武田委員が署名を行った。

9. 本日の会議録署名委員の指名

【教 育 長】

本日会議録署名委員に増田委員と武田委員を指名した。

10. 教育長報告

【教 育 長】

お手元に1枚ものの両面刷りの資料がありますのでそちらをご覧くださいと思います。前回の教育委員会からということで、そこを起点にして報告させていただきます。

10月30日には、中学生海外派遣研修報告会がございました。翌日には、調べる学習の最終審査がありまして、おかげさまで市長賞、そして教育長賞、富谷ユネスコ賞ということで、設定を終えさせていただいているところでございます。

11月1日でございますけれども、この日から学習発表会が始まっております。明石台小学校がスタートでございました。

11月2日でございます。公民館まつりの締めを飾る代官松まつりが富谷中央公民館で行われ、参加させていただきました。その足でグランディ21の方に、マーチングバンドの東北大会がございまして、本市からも7つの小学校が出場しており、その中でもですね、成田東小学校、富ヶ丘小学校が全国ということで、大変明るい話題となっております。成田小学校から金ということで、初の金賞でしたがとても惜しい感じでした。つい週末に学習発表会で聞かせていただいたのですが、大変素晴らしい演奏で、感動したところでございます。

11月3日、富谷市功労者表彰式が行われました。

11月5日でございます。こちらの方は、富谷マーチングフェスティバル実行委員会が開催され、11月23日に行われますフェスティバルに向けて最終確認をしたところです。11月6、7日に人事ヒアリングとございますのは、いよいよ人事も本格的に動いておりまして、校長先生方から次年度の意向を伺いまして、人の動きなどについてさまざまやり取りをさせていただいております。

11月7日の午後でございますが、給食センターで不登校対策緊急会議を開催いたしました。緊急という名がついておりますが、その前の週に不登校ですとか、学校での問題暴力ですとか、或いはいじめ問題等についての数字についての取りまとめたものが公表されました。それについて、本市でも不登校が少なくない数があったことから、すべての学校の校長先生、そして、不登校担当の先生方にお集まりをいただいて、市としての考え方をお伝えしたところでございます。

11月9日、多文化共生フォーラムがございました。これは、宮城県が力を入れているものですが、富谷市を誘致ということで開いたフォーラムでございました。終わった後に大変面白いなと思ったのは、富谷ユネスコ協会の方が近づいていらして、外国籍の方がこれから富谷市も増えてくると思いますが、やさしい日本語で語り合うような会があったらいいのかなという話しを受けて、本当にそうだなあと思ったところです。今後、富谷市の方でも、工場等が増えてくると、国籍が異なる方々が入ってくると思いますので、こういったところに、私達市役所職員はもちろんですが、市民の方々、特に若い世代がどういう風にアクセスしていくかという心境がすごく大事だと思わせられた会でございました。

そのあとですが、富谷黒川地区PTA連合会会員研修会が武道館でありました。講師は、東北大学の榊先生で、スマホが脳を壊すという関係の研究をなさっている方です。スマホを使いすぎると、認知症のリスクが4倍になると聞いて、私はちょっとドキドキしているのですが、子ども達は今1人1台端末を使っていますけれども、これが大丈夫なんだろうかと保護者の方から質問がありました。それに対して榊先生は、タブレットを使わないとできない勉強がここにあるのであれば、やっぱり目的をもって使うということが一つ大事なことで、ただやみくもに与えていけば、スマホでもタブレットでも、子供の学習の時間も奪い、よく言われた前頭葉の働きが働かない状態を生み出してしまうというお話でございました。このあたりは校長先生方も皆さんいらっしゃったので、しっかり各学校とも連携して進めて参りたいと思います。

また、11月11日には、宮城県教育委員会、市町村教育委員会教育懇話会に出席させていただきました。このあたりで、やはり話題になっておりましたのは、主の学力向上施策についてでございました。今度モデルケースとして、AIドリルなど取り入れた学力向上モデルを進めていきたいというお話があり、それに対して各市町村の方から、AIドリルのエビデンスはどうか、或いは各学校でそういったものを使うときに、予算的なものはどうなっているのかなどの質問がございました。その席でもう一つ話題となりましたのは、やはり学校訪問として、各教育事務所の先生方が各学校を回って授業を見てご指導いただく機会が年に1度ありますけれども、そちらの方は、これまで学校で3人ぐらいの先生が授業をするスタイルでここ10年ばかりなっておりますが、全員授業じゃなくていいのかということで、県の方では拡充する方向で動いているようです。一部の教育長さん方は、年に1回それを見てもらっても、どこまで役に立つのかは怪しいし、県の指導主事自体が一頃よりもずいぶん減らされているので、そちらへの負担もあるのではないかという懸念があり、この辺りが一筋縄ではいかないのだということで聞いて参りました。

11月13日に人事ブロック会議というのがございました。これは教育事務所の所長先生はじめ人事担当者の方がいらっしゃいまして、各学校の校長先生と相談すると

いう会でございます。1校1校相談をしています、いよいよ人事も本格化しております。

11月14日でございます。第3回学びあいの学習拡大研修会を富谷第二中学校で開催されました。富谷市の先生方は全て参加していただき、他にも県内各地から参加していただいたり、遠くは埼玉県川口の方からも御参加していただきました。

総勢、約300名ということで、富谷第二中学校の2年生の数学の授業を、まず一つ全員で見えていただき、そのあと、先生方での学び合いがございました。リフレクションというのですが、今日の授業について語り合うような会があり、そのあと毎年富谷市にお越しにいただいている佐藤学先生に御講話を頂戴いたしました。

2年生の授業は、数学の図形の授業で、先生が難しい問題を一つぽんと投げかけたのですが、子どもたちはしばらく沈黙をしながら、渡された紙を角度変えたり、よく見たり、補助線を引いたりしながら試行錯誤して沈黙がずっと続いていました。

ご存知の通り、学び合いは4人単位になっていますので、その中の1人がここの角度がと口火を切ると、周りの子ども達が身を乗り出し、図の書いてある紙のところに顔を寄せ合って、これこうじゃないと言うと、他の子も話しをはじめそう考えていたんだ、でもさとまた話しが途絶えると沈黙が続き、そういう時間が永遠と続きました。どうしても教師は沈黙に耐えられないので、横から言葉をかけたくなるのですが、そこをぐっとこらえている先生の姿がすばらしかったなと思います。学習というのは子供にどれぐらい委ねることができるのか、もっと言うと子供をどこまで信じられるのかに掛かっているのだらうなと思わされた優れた授業だったと思います。そういった優れた授業を市内の先生方みんなでも共有できたとても意味深い一日でございました。

11月15日、パラスポーツ体験会ということで、富谷第二中学校で一年生のお子さんたちを対象に行われました。宮城県の障害者スポーツ協会の方々にお世話をいただいて、ブラインドサッカーを体験しました。この準備運動の段階から、2人1組で片方がアイマスクをしてこう動かすんだよって、隣の子が一生懸命教えますが、アイマスクをしていると体のイメージが湧かないというか、視覚に頼れないということがこういうことなんだと考えたり、伝えるために言葉でどうやって伝えようか必死に伝える様子、そういったものが伺えて、単なる競技だけではなくて、思いやりですとか、信じあう心ですとかそういったところまで及ぶ貴重な体験会でした。富谷第二中学校を皮切りに、3年間ですべて13校を回るといような設計になっているとのことでございます。

また、その日は、成田東小学校でアクセンチュア連携授業がございました。ドーナツ作りということで、模擬のドーナツ屋さんをグループごとに運営してもらうことを通じて、世の中とどう繋がっていくか、例えば税金を納めるとか、儲けをどう出すか、どうしても廃棄ロスが出てしまうのでどうやって減らすとか様々子供たちなりに頭を使って、世の中に繋がることを学べた時間でした。アクセンチュアとの連携事業についても、これから継続的に他の学校に広げていく予定でございます。

11月17日、日曜日、第3回となります富谷複合施設パートナーズミーティングが成田公民館で開催となりました。こちらの方には、東洋大学の先生に、話題提供にいらっしゃったりして、非常に多くの意見をいただける会となりました。図書館というよりはどちらかというと子どもの遊び場の部分にかなり振ったような内容でございました。それをどのように運営したらいいのか、集まっていたいただいた方々からアイデアを頂戴した1日でございました。

以上で報告を終わります。

11. 議 事

【教 育 長】

続きまして議事に入らせていただきます。

議案第1号教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について、令和5年度実績でございます。菅原教育総務課長の説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

議案第1号教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書、令和5年度実績について。

提案理由といたしましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき報告するものとなっております。

概要については、別冊、A4横の資料に基づき説明。

【教 育 長】

ただいま、議案第1号につきまして菅原教育総務課長より説明がございました。このことについて質問ございましたらお願いいたします。

【江刺委員】

これだけの事業を実施していただき感謝申し上げます。

その中で、ちょっと聞きたいことがありました。それは施策1－2の魅力ある学校づくりで、学校の地域学校安全指導員というスクールガードリーダーですかね、市内で登校時、下校時に腕章をつけている人は何名ぐらい居るのか。人数は結構いると思いますが、高齢化となりなかなか集まらないという評価もあります。今現在、市内で何人くらい活動しているのか。

もう一つ聞きたいことがありまして、今、奨学金の制度を富谷でも行っていると思いますが、給付型の奨学金については、富谷でもやっていけるのかどうか。または現在もやっているのかどうか。国の方でも給付型の奨学金をやっていますが、今後、富谷でも子供にやさしいまちづくりを推進している以上は、そういったところも含めて考えていただければなと思いました。

【教 育 長】

ありがとうございます。それでは事務局の方からお願いしたいと思います。

【学校教育課長】

本市にはスクールガードリーダーというものがいまして、リーダーを配置している自治体は、仙台市を除く市町村の中で5自治体のみになっています。

本市はそのうちの1となっていて、参考までに1番多いのは、利府がスクールガードリーダーを3名置いているようです。本市は1名ですが、他の自治体に比べれば、スクールガードリーダーを配置して運営をしているというところは、充実しているのかなというところでございます。あとご質問にありました、スクールガードの人数でございますが、今現在、本市で登録しているのは、51名というふうになっております。こちらの方は他の自治体との比較でいきますと、大体半ばぐらいの人数ですが、スクールガード以外のPTAを含めたボランティア、見守り活動をしていただいているPTA含め、ボランティアの人数でいきますと、実は2,000人を超えておりまして、これはですね、石巻を含めても、県内で一番多いという人数になっております。本市は2,000人を超えていまして、次はですね、名取市で1,900人というふうになっておりまして、本当に富谷市は市民力が高いということをお願いいたします。

数値でも改めて知ることができます。

また、評価にも書いておりますが、募集拡大に努めるということで、これまでは年1回、県との共催でスクールガード養成講座というものをやっています。今年度からは、学校の方をお願いをして、PTAのみならず、町内会の班回覧の方にまわして、これまで令和5年度でいくと25名ぐらいの参加者でしたが、今年度は初めて町内会の方にも枠を広げて、40名ぐらいまで参加人数が増えることができましたので、引き続きこういった形で町内会をどんどん巻き込みながら、見守る目を増やしていきたいなというふうに思っているところでございます。

【教育総務課長】

それでは私の方からは奨学金の関係でございます。

委員のご質問がありました、給付型ということでございますが、本市の取り組みといたしましては貸付型でございます。委員のおっしゃる通り、確かに給付型についてはいかがかということで、幾度となく議会においても一般質問をお受けしておりました。ただ、給付型はですね、民間の財団だとか、そういったところでの給付型としてこの奨学金の制度でございます。そういったものをご利用になっている学生さんもいらっしゃるれば、自治体における貸付型、あともう一つは、還元型といって要は専門資格を取得するがために、専門学校に通われる分を例えば看護師になって地元の病院に就職するというような形で、その奨学金の部分は猶予するというような制度もありますが、残念ながら本市には、市民病院というのはいりません。実際県内でもそういったものを取り入れている自治体は幾つかございます。特に県北の方に行くと、市民病院とかございますので、そういったところに就職する学生さんについてはそういった形での利用があるということは把握しております。

今後においても、本市が給付型へということについては、今現状、正直、予定はございません。当面は貸付型で実施して参りたいなと思っておりました。参考までに、今年度ご利用いただいた新規の学生は、3名でございます。

ここ数年は、やはり利用いただく生徒さんは、若干減少傾向なのかなと言いながら、ある日突然10名とか20名という年もあるかもしれませんが、今現状としてはそういう状況で推移しているということをご参考までにお伝えさせていただきます。

【教 育 長】

他でございますでしょうか。

【増田委員】

先ほどのボランティア2,000名、PTAを含めてということでしたが、成田には独自ののか、ワンワンパトロールというものがあまして、犬を飼っている方々の中で協力をしてくださる方に腕章を渡して、犬の散歩のときにそれを付けて回っているのですごくいいなと思っておりました。こういう方々は、その数字の中には入ってはいないですね。

【学校教育課長】

そこまでの詳細は確認できていないですが、スクールガード以外のところでPTAの他に100名弱の方々の報告があるので、もしかすると、スクールガードではなく、PTAでもない、その他の枠に入ってくるのかなと思います。

【増田委員】

この取り組みは、富谷市全体に広がってもいいのかなと思っていまして、多分、町

内会が世話人だと思いますが、どこが発起人なのか私も調べてみたいと思います。腕章さえあれば、犬を飼っている人がたくさんいるので、それをつけているだけでも安心感が広がるのかなと思いました。

もう一つ、学校給食に関してなんですが、最近、小学生のお母さんから聞いた話ですが、富谷の献立は素晴らしいということで、富谷米ということを標記してくれたり、海外の献立が含まれたりとすごく感謝していますという言葉いただきました。そういう感謝の言葉は働いている職員の方たちになかなか伝わらないと思いましたので、お伝えいただければと思いました。

もう一つ、SNSフォーラムなどを開いても、トラブルに巻き込まれる生徒がいなくなれないということでしたが、今、最も多いトラブルは友達同士のトラブルなのか、それとも外部のものに巻き込まれているという点もあるのか、その現状を教えてくださいなと思います。

【学校教育課長】

SNSの方はですね、実は両方ありまして、ただ、その両方を加味してフォーラムの方で全生徒を対象にやってはいるのですが、どうしても外部からの所に入り込んでしまうような、そこでトラブルになることはありまして、そこは継続的に子供たちに指導していき、フォーラムのみならず、日常の学校教育の中でしていかなければならないと思っております。

また、給食の方も本当にありがとうございます。給食の方もやはり一生懸命やっているところを発信していかなければいけないと思っております、今後はフェイスブック、LINE等のSNSに力を入れましょうということで給食センターの方とも共有したところでございます。

【教 育 長】

他にございますでしょうか。

【高橋職務代理者】

ちょっと心配だなと思ったのが、コロナ禍明けの子ども会の活動状況はどうなっているのかを教えてくださいなと思いました。それから公民館事業ですが、この町は子どもにやさしいという看板が大きくなっていますが、逆にこの項目の中で、高齢者教育事業みたいなものが公民館にありますよね。実は、そういった事業を身近なところで利用している人たちの声を聞いたら、ここに書いている通りで、すごく評判が良いので、高齢者にもやさしい心、まちづくりを今後も推進して欲しいなという願いを込めて申し上げました。

【生涯学習課長】

子供会の活動状況ですが、このコロナ禍の中で確かに数は大分減ってきています。実際に活動停止にはなってないですが、名前だけ残して実際は活動していない団体もありまして、数の方は今把握していないですが、減っている状況には間違いありません。それに伴ってインリーダー研修会も、例年少しずつ参加者は減ってきていますが、子供会の枠にとらわれず、その辺は各小学校にお願いして幅広くインリーダー研修会の募集をかけていきたいと思っております。

それと公民館事業ですが、それぞれ幅広く世代間でいろいろな授業を計画しております。子供から高齢者まで、引き続き、誰でも参加しやすい事業を推進して参りたいと考えております。

【教 育 長】

それでは議案第 1 号につきましてご承認いただけますでしょうか。

【全 委 員】

(異議なし)

12. 一般報告

【教 育 長】

それでは日程第 7、一般報告に入らせていただきます。
まずは、教育総務課よりお願いします。

【教育総務課長】

来年度の当初予算について。
富谷市奨学金貸付条例施行規則の一部改正について。

【学校教育課長】

調べる学習コンクールの表彰式について。
要・準要保護児童生徒の認定について

【生涯学習課長】

生涯学習課イベント関連について。

13. 事務連絡

【事 務 局】

1 2 月定例会は 1 2 月 2 5 日、水曜日、午前 1 0 時から富谷市役所 3 階 3 0 6 会議室で開催する。

14. 閉会挨拶

【高橋教育長職務代理者】

12. 閉 会

午前 1 1 時 5 4 分

令和 6 年 1 2 月 2 5 日

署名委員

署名委員
